

岩手労働局発表
平成27年3月20日

【照会先】
岩手労働局労働基準部健康安全課
課長 安倍 賢
主任安全専門官 村井 雄亮
(電話) 019-604-3007

平成26年及び平成27年(2月)の労働災害発生状況(速報値)を公表します

～平成26年の死傷者数は、前年比1.2%の増加～

～平成27年(2月)の死傷者数は、前年同期比19.9%の減少～

岩手労働局(局長 弓 信幸)は、平成26年及び平成27年2月の県内の全業種における労働災害による死傷者数(休業4日以上)及び死亡者数の状況を取りまとめました。

平成26年の死傷者数は、前年同期比(2月末速報値)で17人(1.2%)の増加と平成22年以降5年連続での増加となり、うち死亡者数は26人と、前年同期比で7人の増加となっています。

平成27年の死傷者数(2月末現在)は、前年同期比で36人(-19.9%)の大幅な減少となり、うち死亡者数も4人と6人の減少となっています。

岩手労働局では平成27年度は復旧・復興工事の本格化により、労働災害の増加が懸念されるため、引き続き、復旧・復興工事における労働災害防止対策に取り組むとともに、労働災害が多い業種における以下の対策を重点的に展開することとしています。

- ・製造業「機械等のはさまれ・巻き込まれ災害の防止」
- ・建設業「墜落・転落災害、重機接触災害、土砂崩壊災害の防止」
- ・道路貨物運送業「交通労働災害、荷役作業における災害の防止」
- ・小売業等その他全業種「転倒災害、交通労働災害の防止」

(業種別等の発生状況は以下のとおりとなっています。)

平成26年1月から12月末までの労働災害発生状況(平成27年2月末現在)

1 死傷災害(休業4日以上) 【表1】【グラフ1】

(1) 全業種合計

全業種合計の死傷者数は1,459人(速報値)で、前年同期比で17人(1.2%)増加となっています。

(2) 業種別の状況

前年同期比で増加した業種は、増加数が多い順に、製造業 317 人（前年同期比 + 42 人、15.3%）、その他業種 164 人（同 + 26 人、18.8%）、運輸交通業 171 人（同 + 19 人、12.5%）、農林業 80 人（同 + 3 人、3.9%）となっています。

なお、その他業種の主な業種は、教育研究業、清掃業、警備業です。

前年同期比で減少した業種は、商業 170 人（同 - 28 人、-14.1%）、通信業 32 人（同 - 15 人、-31.9%）、接客娯楽業 63 人（同 - 10 人、-13.7%）、建設業 291 人（同 - 9 人、-3.0%）、保健衛生業 110 人（同 - 7 人、-6.0%）、畜産・水産業 53 人（同 - 4 人、-7.0%）となっています。

(3) 事故の型別状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、314 人（21.5%）となっています。次いで、「墜落・転落」によるものが、275 人（18.8%）、「はさまれ、巻き込まれ」174 人（11.9%）の順となっています。

2 死亡災害 【表 2】、【表 3】

(1) 全業種合計

全業種合計の死亡者数は 26 人（速報値）で、前年同期比で 7 人増加となっています。

(2) 業種別の状況

業種別では、建設業が 10 人と最も多く、運輸交通業、商業が各 4 人、清掃・と畜業、製造業が各 2 人、鉱業、教育・研究業、その他の事業、畜産・水産業が各 1 人となっています。

前年同期比では、林業で 3 人、畜産・水産業、保健衛生業で各 1 人が減少していますが、鉱業、教育・研究業では増減がなく、建設業で 6 人、運輸交通業で 2 人、製造業、商業、清掃・と畜業、その他の事業で各 1 人が増加しています。

(3) 事故の型別状況

「墜落・転落」が 8 人、「交通事故」が 5 人、「激突され」、「はさまれ・巻き込まれ」が各 3 人、「崩壊・倒壊」、「その他」が各 2 人、「激突」、「感電」、「飛来・落下」、で各 1 人となっています。

前年同期比では、「墜落・転落」で 3 人、「崩壊・倒壊」で 2 人、「はさまれ・巻き込まれ」、「激突」、「感電」、「交通事故」、「その他」で各 1 人増

加しており、「激突され」では増減がなく、「転倒」、「飛来・落下」、「破裂」で各1人減少しています。

平成27年1月から2月末までの労働災害発生状況（平成27年2月末現在）

1 死傷災害（休業4日以上） 【表4】【グラフ2】

（1）全業種合計

全業種合計の死傷者数は145人（速報値）で、前年同期比で36人（19.9%）減少となっています。

（2）業種別の状況

業種別では、製造業29人（前年同期比-8人、-21.6%）、商業17人（同-8人、-32.0%）、その他業種11人（同-8人、-42.1%）、農林業5人（同-8人、-61.5%）、運輸交通業25人（同-4人、-13.8%）、通信業6人（同-3人、-33.3%）、建設業22人（同-2人、-8.3%）、接客娯楽業10人（同-2人、-16.7%）、保健衛生業13人（同+5人、+62.5%）、畜産・水産業5人（同+1人、+25.0%）、鉱業2人（同+1人、+100.0%）となっています。

（3）事故の型別状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、58人（40.0%）となっています。次いで、「はさまれ、巻き込まれ」によるものが、21人（14.5%）、「墜落・転落」20人（13.8%）となっています。

2 死亡災害 【表5】【表6】

全業種合計の死亡者数は4人（速報値）で、前年同期比で6人減少となっています。

事故の型別では「交通事故」が50.0%（前年同期では40.0%）と死亡災害全体の半数を占めています。

【表1】

平成26年 1月～ 12月 労働災害発生状況（休業4日以上死傷者数）

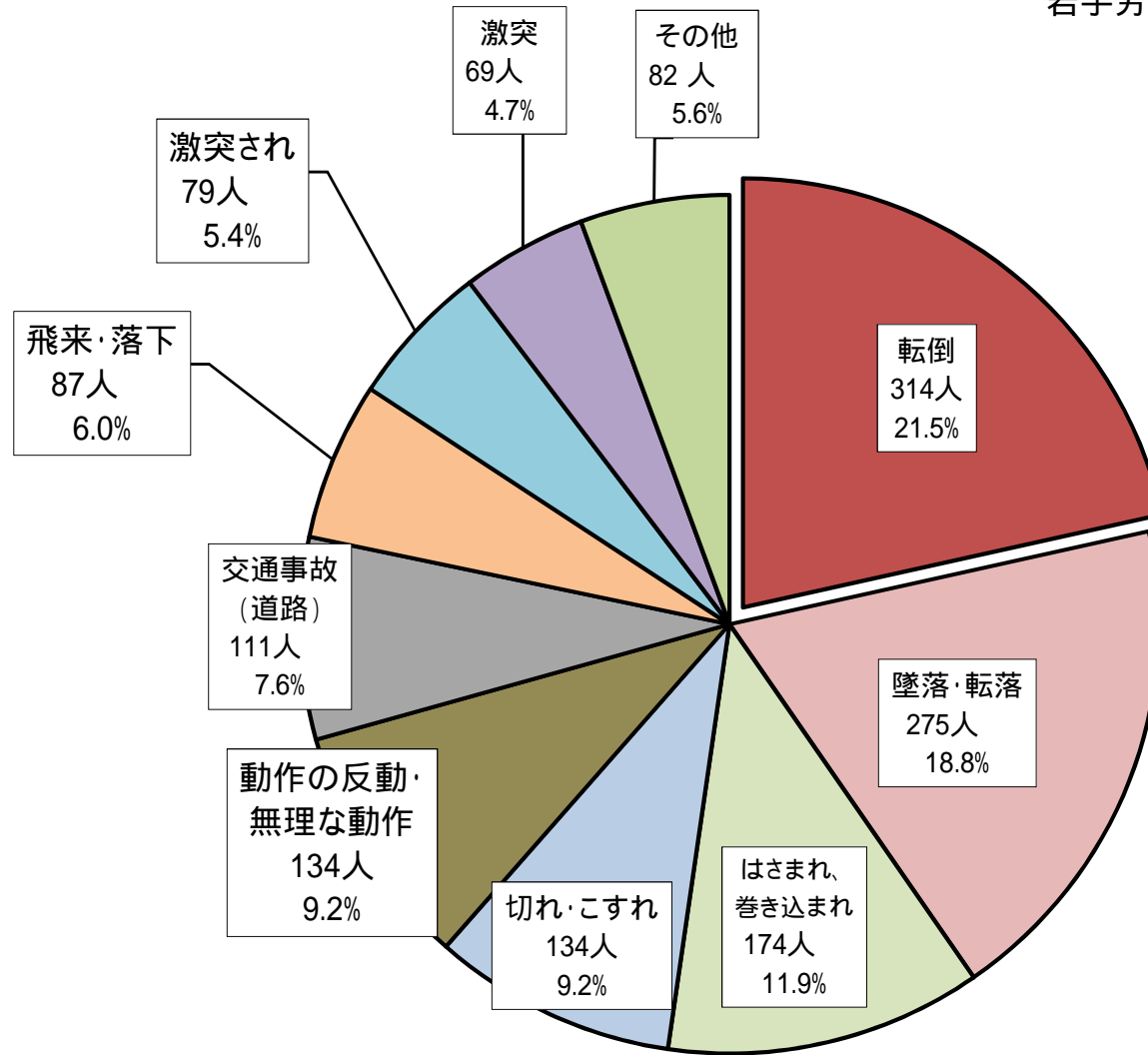
岩手労働局

業 種		岩手局				盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署	
		26年	25年	増減数	増減率								
製造業	水産食料品	33	17	16	94.1%		7	10			12	4	
	上記以外の食料品	83 (2)	74	9	12.2%	30	2	1	16	15	4	15	
	繊維・衣服その他繊維製品	11	6	5	83.3%	2		1	2	5		1	
	木材・木製品、家具・装備品	46 (1)	44 (1)	2	4.5%	8	9	3	8	4	5	9	
	パルプ・紙、印刷・製本	10	12	-2	-16.7%	1			4	5			
	化学工業	14 (1)	15 (1)	-1	-6.7%	4		4	4	1	1		
	窯業土石製品	21	20	1	5.0%	1	3	3	8	3		3	
	鉄鋼業、非鉄金属	12	8	4	50.0%	3			6	3			
	金属製品	27	28 (1)	-1	-3.6%	4		2	7	12	1	1	
	一般機械器具	13 (1)	14	-1	-7.1%	2	1	1	9				
	電気機械器具	11	11	0	0.0%	1	2	1	3	3		1	
	輸送用機械製造	12	7	5	71.4%	2	1	2	4		3		
	電気・ガス	0	0	0									
	その他の製造業	24	19	5	26.3%	8	1		9	3		3	
小計	317 (5)	275 (3)	42	15.3%	66	26	28	80	54	26	37		
鉱業		6	6	0	0.0%	1			2		1	2	
建設業	土木工事	101 (6)	83 (15)	18	21.7%	21	20	10	19	6	16	9	
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋	28 (5)	38 (6)	-10	-26.3%	4	3	2	10		6	3
		木造家屋	74	89 (1)	-15	-16.9%	16	4	9	15	12	9	9
		その他の建築工事	44 (2)	58 (3)	-14	-24.1%	19	1		12	4	1	7
	その他の建設	44 (11)	32	12	37.5%	16	3		3	11	9	2	
小計	291 (24)	300 (25)	-9	-3.0%	76	31	21	59	33	41	30		
運輸交通業	道路貨物運送業	146 (15)	136 (7)	10	7.4%	70	10	6	35	13	4	8	
	その他の運輸交通業	25	16 (1)	9	56.3%	17	1		5	2			
貨物取扱		2	2	0	0.0%	1	1						
農林業	農業	9 (1)	16	-7	-43.8%	2	2		5				
	林業	71	61	10	16.4%	20	13	4	9	7	8	10	
畜産水産業	畜産業	39	42	-3	-7.1%	9	1	2	19		3	5	
	水産業	14	15	-1	-6.7%		7	1			5	1	
商業	小売業	128 (18)	159 (15)	-31	-19.5%	58	11	4	28	12	4	11	
	その他の商業	42	39 (6)	3	7.7%	21	4	2	11		2	2	
通信業		32 (15)	47 (29)	-15	-31.9%	12		2	8	9		1	
保健衛生業	社会福祉施設	87 (6)	83 (4)	4	4.8%	24	10	7	29	9	2	6	
	その他の保健衛生業	23	34 (1)	-11	-32.4%	13	1		4	3		2	
接客娯楽業	旅館業	16 (2)	26	-10	-38.5%	4	1	2	5	4			
	飲食店	33 (1)	31	2	6.5%	20	1	1	3	5	3		
	その他の接客娯楽業	14 (1)	16	-2	-12.5%	5			7	2			
その他	ビルメンテナンス業	39 (5)	21	18	85.7%	24		2	11	2			
	その他（上記以外の業種）	125 (18)	117 (15)	8	6.8%	38	14	5	25	17	10	16	
合 計	② 1,459 (111)	1,442 (106)	17	1.2%	481	134	87	345	172	109	131		
(注) 平成27年2月末の速報値である。						前年同期	489	96	104	334	180	106	133
数字は死亡者数（内数）、（ ）数字は交通労働災害（内数）である。						増減数	-8	38	-17	11	-8	3	-2
						増減率	-1.6%	39.6%	-16.3%	3.3%	-4.4%	2.8%	-1.5%

【グラフ 1】

平成26年(1～12月)労働災害発生状況(事故の型別)

岩手労働局



平成27年2月末の速報値である。
数字は死亡者数(内数)である。

【表2】

平成26年 死亡災害発生状況 (12月31日 現在)

岩手労働局

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要	発注者
1	花巻	商業 (新聞販売業)	1月	木	女	70歳代 (30年以上 40年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	新聞配達中に道路を横断していたところ、軽貨物自動車に轢かれた。	
2	釜石	建設業 (トンネル建設工事業)	1月	月	男	50歳代 (1年以上 10年未満)	墜落、転落	掘削用機械	ドラグ・ショベルで約1mの高さに積みあがった伐採材の上を走行したところ、ドラグ・ショベルのバランスが崩れ横転しそうになったため、ドラグ・ショベルから飛び降り(転落)、横転したドラグ・ショベルの下敷きになった。	国
3	盛岡	商業 (家具・建具・じゅう器 小売業)	1月	土	男	20歳代 (1年以上 10年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	自動車で走行中、凍結路面でスリップしセンターラインをはみ出し、バスと正面衝突した。	
4	盛岡	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	1月	土	男	20歳代 (1年以上 10年未満)	はさまれ・ 巻き込まれ	トラック	トラックの後進誘導を行っていたところ、電柱とトラックの間にはさまれた。	
5	宮古	清掃・と畜業 (その他の廃棄物処理業)	1月	月	男	60歳代 (1年以上 10年未満)	墜落、転落	トラック	ゴミ収集用のトラックの荷台に労働者が乗ったまま走行中、労働者が荷台から道路に転落した。	
6	盛岡	商業 (その他の小売業)	1月	水	男	30歳代 (1年以上 10年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	自動車で走行中、凍結路面でスリップしセンターラインをはみ出し、対向車と正面衝突した。	
7	宮古	建設業 (木造家屋建築工事業)	2月	土	男	60歳代 (40年以上 50年未満)	墜落、転落	はしご等	新築工事現場において、2階に置いてあった保護帽及び工具袋を取りに行くため、高さ2.7mの脚立を上っていたところ、脚立から転落した。	民間
8	盛岡	清掃・と畜業 (ビルメンテナンス業)	2月	火	男	20歳代 (1年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	軽ワゴン車で走行中、圧雪状態でスリップし、対向車と正面衝突した。	
9	盛岡	建設業 (道路建設工事業)	2月	木	男	60歳代 (20年以上 30年未満)	激突され	掘削用機械	道路整備工事現場において砂利を敷き均す作業をしていたところ、バックしてきたドラグ・ショベルに轢かれた。	地方公
10	花巻	製造業 (機械(精密機械を除く) 器具製造業)	2月	金	男	40歳代 (10年以上 20年未満)	激突され	旋盤	加工材を手で保持して旋盤作業を行っていたところ、保持していた加工材が激突した。	
11	大船渡	建設業 (港湾海岸工事業)	3月	水	男	40歳代 (20年以上 30年未満)	その他	起因物なし	業務による心理的負荷により精神障害を発病し、自殺に至ったものとして労災認定された。	地方公

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要	発注者
12	一関	教育・研究業 (その他の教育研究業)	3月	水	男	60歳代 (1年以上 10年未満)	墜落、転落	はしご等	ビニールハウスにビニールシートを貼り付ける作業中、高さ3mの三脚脚立から墜落した。	
13	盛岡	商業 (燃料小売業)	3月	木	男	50歳代 (20年以上 30年未満)	墜落、転落	整地・運搬・ 積込用機械	トラクターショベルで除雪作業中、トラクターショベルごと用水路に転落しトラクターショベルの下敷きになった。	
14	宮古	建設業 (電気通信工事業)	4月	水	男	60歳代 (40年以上 50年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、バス、バイク	自動車で行き中、運転を誤り自動車が道路左側の河川に転落し、同乗していた労働者が死亡した。	
15	花巻	建設業 (木造家屋建築工事業)	5月	土	男	30歳代 (1年以上 10年未満)	その他	起因物なし	業務による過重な負荷により脳出血を発症したとして労災認定された。	
16	大船渡	建設業 (その他の土木工事業)	5月	木	男	60歳代 (1年以上 10年未満)	はさまれ・ 巻き込まれ	トラック	ダンプトラックの荷台を上げ整備作業を行っていたところ、ダンプトラックの荷台と車体フレームの間に体をはさまれた。	地方公
17	宮古	その他の事業 (その他)	5月	木	男	60歳代 (1年未満)	崩壊、倒壊	その他の 仮設物、 建築物、 構築物等	海上(漁港内)のボーリング用檣(やぐら)の足場で労働者3人が測定の作業を行っていたところ、檣が倒壊したため同3人が海に落ち1人が溺死した。	
18	花巻	建設業 (鉄骨・鉄筋コンクリート 造家屋建築工事業)	7月	土	男	60歳代 (1年未満)	墜落、転落	足場	型枠の洗浄作業終了後、高さ1.8mの足場から前向きに墜落し、腹部を強打した。	民間
19	盛岡	建設業 (電気通信工事業)	7月	木	男	50歳代 (20年以上 30年未満)	感電	電力設備	動力電源のルート変更工事において、配電盤のブレーカー端子を取り換えるため、ケーブルカッターでブレーカーの活線(200V、225A)の切断作業を行っていたところ、感電した。	民間
20	釜石	製造業 (造船業)	8月	月	男	50歳代 (1年以上 10年未満)	墜落、転落	作業床、歩み板	船の外周に組み立てられた、わく組足場の解体作業中、高さ7.2mの作業床から墜落した。	
21	花巻	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	8月	月	男	40歳代 (20年以上 30年未満)	飛来、落下	クレーン	木材(60×60×670cm、重さ1.8t)をクレーンでつり上げ、トラックに積み込む作業中、つり上げた木材が並べて置いてあった木材に接触し、その木材が崩れ落ちたため、崩れた木材とトラックの荷台に挟まれた。	
22	宮古	建設業 (道路建設工事業)	8月	土	男	50歳代 (20年以上 30年未満)	激突	整地・運搬・積 込用機械	ブルドーザーで押土作業中、ブルドーザーの運転席から転落し、ブルドーザーの履帯に左側腹部を強打した。	地方公

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要	発注者
23	大船渡	畜産・水産業 (漁業)	9月	月	男	30歳代 (10年以上 20年未満)	激突され	クレーン等	定置網に錨ロープ(36mm)を取り付けるため巻きロープ(36mm:錨ロープに取り付けた補助ロープ)をキャブスタンで巻き上げる作業中、海中に錨ロープが絡まっていたことから、錨ロープをクレーンで海上までつり上げたところ、巻きロープが切れ、クレーンのフックが激突した。	
24	宮古	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	10月	木	男	40歳代 (10年以上 20年未満)	はさまれ・ 巻き込まれ	トラック	ホーム前で3tトラックに荷を積むため後ろの扉を開けている時、トラックが動き出したため止めようと追いかけたところ、別のトラックとの間にはさまれた。	
25	釜石	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	10月	月	男	60歳代 (40年以上 50年未満)	墜落、転落	トラック	道路の支障木を除去しようとして、10tダンプトラックの運転席屋根(高さ2.9m)に上がっていたところ、同屋根から墜落した。	
26	盛岡	鉱業 (採石業)	11月	土	男	30歳代 (1年以上 10年未満)	崩壊、倒壊	地山、岩石	採石場内の法面に発破を装填するための穴をクローラードリルで掘削していたところ、法面の岩盤が崩壊し下敷きとなった。	

【表3】

12月31日 現在

業種別	製造業 2人 (1人)	鉱業 1人 (1人)	建設業 10人 (4人)	運輸業 4人 (2人)	林業 0人 (3人)	商業 4人 (3人)	左記 以外 5人 (5人)	26人 (前年同期19人)
監督署別	盛岡 8人 (3人)	宮古 6人 (2人)	釜石 3人 (1人)	花巻 5人 (2人)	一関 1人 (5人)	大船渡 3人 (1人)	二戸 0人 (5人)	
事故の型別	墜落・ 転落 8人 (5人)	転倒 0人 (1人)	飛来・ 落下 1人 (2人)	崩壊・ 倒壊 2人 (0人)	激突 され 3人 (3人)	はさまれ・ 巻き込まれ 3人 (2人)	切れ・ こすれ 0人 (0人)	
	おぼれ 0人 (0人)	高温の物 との接触 0人 (0人)	激突 1人 (0人)	感電 1人 (0人)	破裂 0人 (1人)	交通事故 5人 (4人)	その他 2人 (1人)	

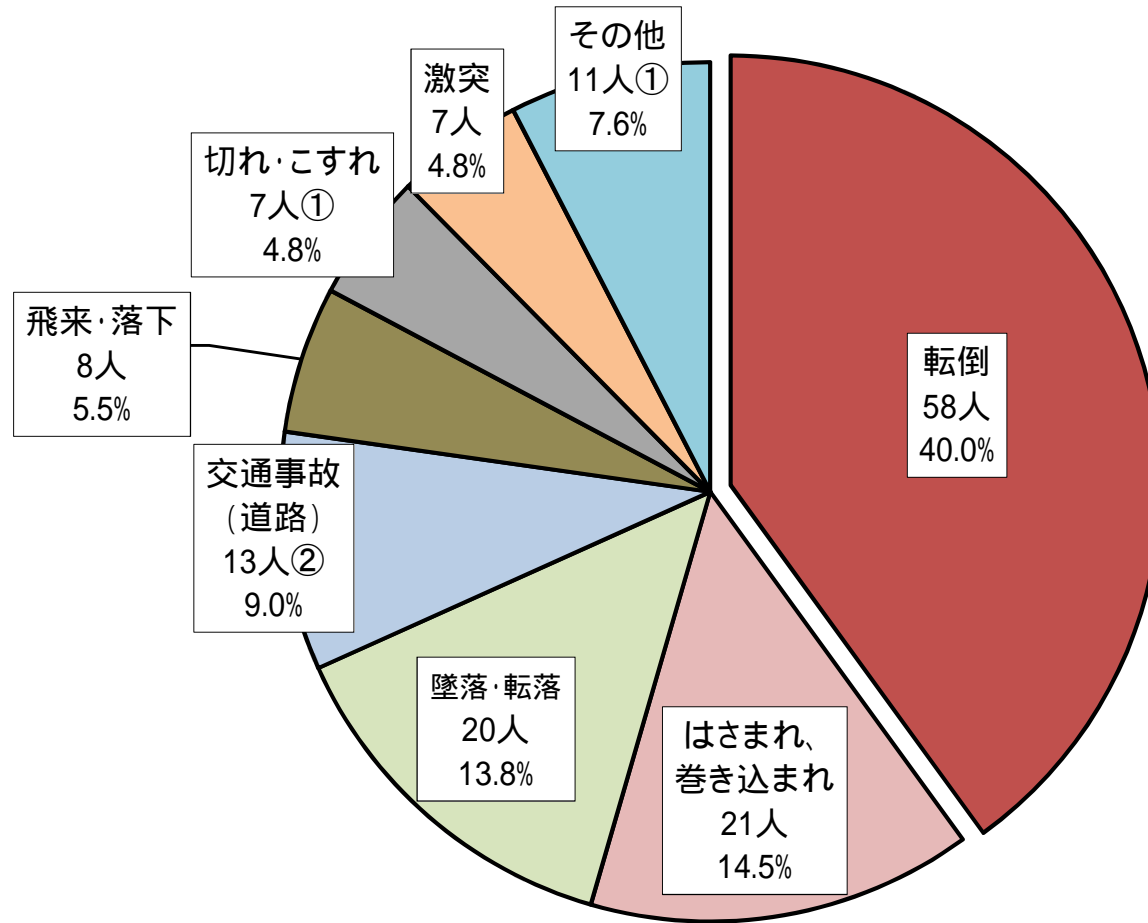
注：()内は前年同期

業種		岩手局				盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署	
		27年	26年	増減数	増減率								
製造業	水産食料品	2	0	2			1				1		
	上記以外の食料品	14	15	-1	-6.7%	10				2		2	
	繊維・衣服その他繊維製品	1	0	1				1					
	木材・木製品、家具・装備品	2	9	-7	-77.8%	2							
	パルプ・紙、印刷・製本	1	1	0	0.0%				1				
	化学工業	0	1	-1	-100.0%								
	窯業土石製品	2	3	-1	-33.3%		1			1			
	鉄鋼業、非鉄金属	0	1	-1	-100.0%								
	金属製品	2	1	1	100.0%			1				1	
	一般機械器具	0	3	-3	-100.0%								
	電気機械器具	1	1	0	0.0%				1				
	輸送用機械製造	1	1	0	0.0%				1				
	電気・ガス	0	0	0									
	その他の製造業	3	1	2	200.0%	3							
小計		29	37	-8	-21.6%	15	2	1	4	3	1	3	
鉱業		2	1	1	100.0%				1		1		
建設業	土木工事	8	12 (1)	-4	-33.3%		2	2		2		2	
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋	2	3 (2)	-1	-33.3%		1	1				
		木造家屋	5	7	-2	-28.6%	1		1		2		1
		その他の建築工事	3	1	2	200.0%	1			1		1	
	その他の建設	4	1	3	300.0%	2	1					1	
小計		22	24 (3)	-2	-8.3%	4	4	4	1	4	1	4	
運輸交通業	道路貨物運送業	20 (4)	21 (2)	-1	-4.8%	6			4	7	3		
	その他の運輸交通業	5	8	-3	-37.5%	2			1	1	1		
貨物取扱		0	0	0									
農林業	農業	0	2	-2	-100.0%								
	林業	5	11	-6	-54.5%	1	1			2	1		
畜産水産業	畜産業	4	4	0	0.0%	1		1	1			1	
	水産業	1	0	1								1	
商業	小売業	13 (4)	23 (5)	-10	-43.5%	8			4		1		
	その他の商業	4 (1)	2	2	100.0%	2			2				
通信業		6 (2)	9 (3)	-3	-33.3%	4			1	1			
保健衛生業	社会福祉施設	9	5	4	80.0%	1	1	1	4	2			
	その他の保健衛生業	4	3	1	33.3%	1			2			1	
接客娯楽業	旅館業	4 (1)	4 (1)	0	0.0%	3						1	
	飲食店	2	5	-3	-60.0%	2							
	その他の接客娯楽業	4	3	1	33.3%	3						1	
その他	ビルメンテナンス業	2	8 (3)	-6	-75.0%				1			1	
	その他（上記以外の業種）	9 (1)	11	-2	-18.2%		1		3	3		2	
合計		145 (13)	181 (17)	-36	-19.9%	53	9	7	29	23	9	15	
(注) 平成27年 2月末の速報値である。						前年同期	74	22	8	36	17	8	16
数字は死亡者数（内数）、（ ）数字は交通労働災害（内数）である。						増減数	-21	-13	-1	-7	6	1	-1
						増減率	-28.4%	-59.1%	-12.5%	-19.4%	35.3%	12.5%	-6.3%

[グラフ2]

平成27年 1～2月 労働災害発生状況 (事故の型別)

岩手労働局



平成27年2月末の速報値である。
数字は死亡者数(内数)である。

平成27年 死亡災害発生状況 (2月28日 現在)

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要	発注者
1	花巻	商業 (その他の卸売業)	1月	水	女	40歳代 (1年以上 10年未満)	交通事故 (道路)	トラック	社用車で東北自動車道を走行中、スリップ事故により中央分離帯に衝突し、追い越し車線で停車していたところに後続の大型トラックが追突した。	
2	一関	建設業 (木造家屋建築工事業)	1月	土	男	50歳代 (30年以上 40年未満)	切れ、 こすれ	丸のこ盤	工事現場で、木材加工中、携帯用丸のこ盤で左示指を切断し療養していたが、32日後に破傷風のため死亡した。	民間
3	一関	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	2月	金	男	60歳代 (1年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	社用車で新東名高速道路を走行中トラックに追突した。	
4	釜石	建設業 (港湾海岸工事業)	2月	日	男	40歳代 (10年以上 20年未満)	有害物等 との接触	異常環境等	潜水し水深約18mで捨石を均す作業中、潜水から約10分後に異常を訴え水面に浮上したが、塞栓症により死亡した。	国

【表6】

2月28日 現在

業種別	製造業 0人 (1人)	鉱業 0人 (0人)	建設業 2人 (3人)	運輸業 1人 (1人)	林業 0人 (0人)	商業 1人 (3人)	左記以外 0人 (2人)	4人 (前年同期10人)
	盛岡 0人 (5人)	宮古 0人 (2人)	釜石 1人 (1人)	花巻 1人 (2人)	一関 2人 (0人)	大船渡 0人 (0人)	二戸 0人 (0人)	
事故の型別	墜落・転落 0人 (3人)	転倒 0人 (0人)	飛来・落下 0人 (0人)	崩壊・倒壊 0人 (0人)	激突され 0人 (2人)	はさまれ・巻き込まれ 0人 (1人)	切れ・こすれ 1人 (0人)	
	おぼれ 0人 (0人)	高温の物との接触 0人 (0人)	激突 0人 (0人)	感電 0人 (0人)	有害物等との接触 1人 (0人)	交通事故 2人 (4人)	その他 0人 (0人)	

注：()内は前年同期

[参考]

平成26年 月別労働災害発生状況 (休業4日以上)の死傷者数

岩手労働局

業 種		26年計	25年	増減数	増減率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
製造業	食料品	33	17	16	94.1%		2	3	2	6	4	3	2		3	4	4	
	上記以外の食料品	83	74	9	12.2%	10	12	4	7	3	4	4	6	6	13	10	4	
	繊維・衣服その他繊維製品	11	6	5	83.3%		1	1	3	1	2		1		1		1	
	木材・木製品、家具・装備品	46	44	2	4.5%	6	6	4	4	3	1	3	4	3	5	3	4	
	パルプ・紙、印刷・製本	10	12	-2	-16.7%	1	1	1				3	1	1		2		
	化学工業	14	15	-1	-6.7%		2	3						3		3	3	
	窯業土石製品	21	20	1	5.0%	2	1		5		3			1	2	3	3	1
	鉄鋼業、非鉄金属	12	8	4	50.0%	1	2	1	1	1	2	2				1		1
	金属製品	27	28	-1	-3.6%	1	2		6	2	5	1			4	2	2	2
	一般機械器具	13	14	-1	-7.1%	1	5		1	1	1	1			1	1		1
	電気機械器具	11	11	0	0.0%	1			1	1	1			2	2			3
	輸送用機械製造	12	7	5	71.4%	1	1	1			1	1	1			1	4	1
	電気・ガス	0	0	0														
	その他の製造業	24	19	5	26.3%		4		3	2	2			4	4	3	1	1
小計	317	275	42	15.3%	24	39	18	33	20	26	18	25	23	36	32	23		
鉱業	6	6	0	0.0%	2		2						1			1		
建設業	土木工事	101	83	18	21.7%	9	7	8	7	11	6	4	11	7	13	11	7	
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋	28	38	-10	-26.3%		4	3	3	1	1	3	4	3	2	1	3
		木造家屋	74	89	-15	-16.9%	7	7	11	4	4	7	6	4	2	8	11	3
	その他の建築工事	44	58	-14	-24.1%	1	2	4	4	7	3	6	5	4	5	1	2	
	その他の建設	44	32	12	37.5%	2	2	3	7	1	8	3	10	1	2	2	3	
小計	291	300	-9	-3.0%	19	22	29	25	24	25	22	34	17	30	26	18		
運輸交通業	道路貨物運送業	146	136	10	7.4%	14	13	17	8	7	9	11	10	12	13	10	22	
	その他の運輸交通業	25	16	9	56.3%	5	5	2	1	1	1	2	2	3		1	2	
貨物取扱	2	2	0	0.0%										1		1		
農林業	農業	9	16	-7	-43.8%	3	1				1	1	1			1	1	
	林業	71	61	10	16.4%	8	3		6	7	3	10	4	3	11	8	8	
畜産水産業	畜産業	39	42	-3	-7.1%	2	2	3	2	4	2	3	4	5	5	1	6	
	水産業	14	15	-1	-6.7%		2	1	1	1			1	2	5	1		
商業	小売業	128	159	-31	-19.5%	21	18	11	8	7	6	12	7	9	6	6	17	
	その他の商業	42	39	3	7.7%	3	3	3	7	4	5	3	4	3	2	2	3	
通信業	32	47	-15	-31.9%	7	5	3	3	1			2	3	1	1	3	3	
保健衛生業	社会福祉施設	87	83	4	4.8%	5	12	9	5	6	6	10	10	8	5	5	6	
	その他の保健衛生業	23	34	-11	-32.4%	4	2	1	2		2	3	2	2	2	1	2	
接客娯楽業	旅館業	16	26	-10	-38.5%	3	2	2	1		1	1	3		1	1	1	
	飲食店	33	31	2	6.5%	1	6	1	5	3	4	2	4	1	2	1	3	
	その他の接客娯楽業	14	16	-2	-12.5%	1	2		1		1	2	1	2		1	3	
その他	ビルメンテナンス業	39	21	18	85.7%	3	7	1	1	1	1	7	4	5	2	2	5	
	その他(上記以外の業種)	125	117	8	6.8%	7	15	10	7	11	13	11	7	17	9	9	9	
合 計	⑳ 1,459	1,442	17	1.2%	132	159	113	116	97	106	120	127	114	130	113	132		

(注)平成27年2月末の速報値である。

数字は死亡者数(内数)である。

【参考】

平成27年 月別労働災害発生状況 (休業4日以上の死傷者数)

岩手労働局

業 種		27年計	26年	増減数	増減率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
製造業	食料品	2	0	2		2											
	水産食料品	2	0	2		2											
	上記以外の食料品	14	15	-1	-6.7%	8	6										
	繊維・衣服その他繊維製品	1	0	1		1											
	木材・木製品、家具・装備品	2	9	-7	-77.8%	1	1										
	パルプ・紙、印刷・製本	1	1	0	0.0%	1											
	化学工業	0	1	-1	-100.0%												
	窯業土石製品	2	3	-1	-33.3%	1	1										
	鉄鋼業、非鉄金属	0	1	-1	-100.0%												
	金属製品	2	1	1	100.0%	1	1										
	一般機械器具	0	3	-3	-100.0%												
	電気機械器具	1	1	0	0.0%		1										
	輸送用機械製造	1	1	0	0.0%		1										
	電気・ガス	0	0	0													
その他の製造業	3	1	2	200.0%	3												
小計		29	37	-8	-21.6%	18	11										
鉱業		2	1	1	100.0%	2											
建設業	土木工事	8	12	-4	-33.3%	2	6										
	鉄骨・鉄筋家屋	2	3	-1	-33.3%	1	1										
	木造家屋	5	7	-2	-28.6%	3	2										
	その他の建築工事	3	1	2	200.0%	1	2										
	その他の建設	4	1	3	300.0%	1	3										
小計		22	24	-2	-8.3%	① 8	① 14										
運輸交通業	道路貨物運送業	20	21	-1	-4.8%	10	① 10										
	その他の運輸交通業	5	8	-3	-37.5%	4	1										
貨物取扱		0	0	0													
農林業	農業	0	2	-2	-100.0%												
	林業	5	11	-6	-54.5%	3	2										
畜産水産業	畜産業	4	4	0	0.0%	2	2										
	水産業	1	0	1		1											
商業	小売業	13	23	-10	-43.5%	10	3										
	その他の商業	4	2	2	100.0%	4											
通信業		6	9	-3	-33.3%	3	3										
保健衛生業	社会福祉施設	9	5	4	80.0%	6	3										
	その他の保健衛生業	4	3	1	33.3%	2	2										
接客娯楽業	旅館業	4	4	0	0.0%	3	1										
	飲食店	2	5	-3	-60.0%		2										
	その他の接客娯楽業	4	3	1	33.3%	3	1										
その他	ビルメンテナンス業	2	8	-6	-75.0%	1	1										
	その他(上記以外の業種)	9	11	-2	-18.2%	4	5										
合計		145	181	-36	-19.9%	② 84	61										

(注) 平成27年2月末の速報値である。

数字は死亡者数(内数)である。